

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 29 年 2 月 19 日 9 時 00 分 ~ 12 時 30 分)

注意 じ 事項 じ 項

1. 試験問題の数は 120 問で解答時間は正味 3 時間 30 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) (例 1)、(例 2) 及び (例 3) の問題では 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を (例 1)、(例 2) では 1 つ、(例 3) では 2 つ 選び 答案用紙に記入すること。
 なお、(例 1)、(例 2) の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3) の質問には、1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

201 近代看護の基礎を築いたのは誰か。

1. アダムズ, J.
Addams, J.
2. キュリー, M.
Curie, M.
3. ナイチンゲール, F.
Nightingale, F.
4. アインシュタイン, A.
Einstein, A.

正解は「3」であるから答案用紙の ③ をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	①	②	③	④
		↓		
201	①	②	●	④

答案用紙②の場合、

201	201
①	①
②	②
③	●
④	④

れい
(例2)

202 看護師の離職時の届出が定められているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 労働基準法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「5」であるから答案用紙の⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

202	①	②	③	④	⑤
			↓		
202	①	②	③	④	●

答案用紙②の場合、

202	202
①	①
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	●

れい
(例3)

203 看護師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

203	①	②	③	④	⑤
			↓		
203	●	②	③	④	●

答案用紙②の場合、

203	203
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	●

(2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

204 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答：①②%

- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

204	①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	●
	②	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9

答案用紙②の場合、

204	①	②
	0	●
	1	1
	2	2
	3	3
	4	4
	5	5
	6	6
	7	7
	8	8
	●	9

1 平成25年(2013年)の国民生活基礎調査による有訴者率(人口千対)で正しいのはどれか。

1. 12.4
2. 112.4
3. 312.4
4. 512.4

2 平成25年(2013年)の感染症発生動向調査による年間の性感染症(STD)報告数で最も多いのはどれか。

1. 性器クラミジア感染症
genital chlamydia infection
2. 尖圭コンジローマ
condyloma acuminatum
3. 性器ヘルペス
genital herpes
4. 淋菌感染症
gonococcal infection

3 平成25年(2013年)の国民医療費はどれか。

1. 約 400 億円
2. 約 4,000 億円
3. 約 4 兆円
4. 約 40 兆円

4 介護保険法で第1号被保険者と規定されているのはどれか。

1. 45 歳以上
2. 55 歳以上
3. 65 歳以上
4. 75 歳以上

5 看護師の業務従事者届の届出の間隔として規定されているのはどれか。

1. 1年
2. 2年
3. 5年
4. 10年

6 標準的な発育をしている乳児の体重が出生時の体重の約2倍になる時期はどれか。

1. 生後3か月
2. 生後6か月
3. 生後9か月
4. 生後12か月

7 第二次性徴による身体の変化で正しいのはどれか。

1. 精通
2. 体重減少
3. 内臓脂肪の増加
4. 第1大臼歯の萌出

8 老年期の身体的な特徴で正しいのはどれか。

1. 尿量の増加
2. 味覚の感度の向上
3. 体温調節能の低下
4. 外来抗原に対する抗体産生の亢進

9 医療法で「地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有すること」と定められているのはどれか。

1. 助産所
2. 診療所
3. 特定機能病院
4. 地域医療支援病院

10 ヒューマンエラーによる医療事故を防止するための対策で最も適切なのはどれか。

1. 性格検査の実施
2. 事故発生時の罰則の規定
3. 注意力強化のための訓練の実施
4. 操作を誤りにくい医療機器の導入

11 大動脈に血液を送り出す部位はどれか。

1. 左心室
2. 右心室
3. 左心房
4. 右心房

12 喀血が起こる出血部位で正しいのはどれか。

1. 頭蓋内
2. 気道
3. 食道
4. 胆道

13 胸痛を訴えるのはどれか。

1. 髄膜炎
meningitis
2. 腎結石
renal stone
3. 急性心筋梗塞
acute myocardial infarction
4. Ménière〈メニエール〉病
Ménière's disease

14 小脳失調でみられるのはどれか。

1. 下肢の麻痺が認められる。
2. 姿勢保持が困難になる。
3. 血圧が不安定になる。
4. 体がこわばる。

15 せん妄の誘発因子はどれか。

1. 身体拘束
2. 心血管障害
3. 低栄養状態
4. 電解質バランス異常

16 目的とする効果が安定して発現するまでに最も時間がかかる薬はどれか。

1. 睡眠薬
2. 鎮痛薬
3. 抗うつ薬
4. 抗血栓薬

17 医薬品表示(別冊No. 1 ①～④)を別に示す。

げきやく ひょうじ ただ
劇薬の表示で正しいのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④



18 自力での摂取が困難な臥床患者の食事介助で適切なのはどれか。

1. 水分摂取の介助を控える。
2. 仰臥位の姿勢を保持するよう介助する。
3. 食事内容が見える位置に食器を配置する。
4. 患者の下顎が上がるよう上方からスプーンで介助する。

19 足浴の効果で最も期待されるのはどれか。

1. 食欲増進
2. 睡眠の促進
3. 筋緊張の亢進
4. 皮膚温の低下

20 療養施設、社会福祉施設等が集合して設置されている地域の昼間の騒音について、環境基本法に基づく環境基準で定められているのはどれか。

1. 20 dB 以下
2. 50 dB 以下
3. 80 dB 以下
4. 110 dB 以下

21 オートクレーブによる滅菌法はどれか。

1. 乾熱滅菌
2. プラズマ滅菌
3. 高圧蒸気滅菌
4. 酸化エチレンガス滅菌

22 点滴静脈内注射中の刺入部位の腫脹を確認したときに、最初に実施するのはどれか。

1. 体位を変える。
2. 注入を中止する。
3. 刺入部位を挙上する。
4. 周囲のマッサージを行う。

23 成人患者の気管内の一時的吸引における吸引圧で正しいのはどれか。

1. -100~-150 mmHg
2. -200~-250 mmHg
3. -300~-350 mmHg
4. -400~-450 mmHg

24 包帯法の原則として適切なのはどれか。

1. 患部を強く圧迫する。
2. 屈伸可能な関節は固定する。
3. 中枢から末梢に向けて巻く。
4. 使用部位によって包帯を使い分ける。

25 経膣分娩の正常な経過で最初に起こるのはどれか。

1. 発露
2. 排臨
3. 胎盤の娩出
4. 児頭の娩出
5. 子宮口の全開大

26 単層円柱上皮はどれか。

1. 表皮
2. 腹膜
3. 膀胱
4. 胃

27 角加速度を感知するのはどれか。

1. 耳管
2. 前庭
3. 耳小骨
4. 半規管

28 縦隔じゅうかくに含まれるのはどれか。

1. 肺はい
2. 胸腺きょうせん
3. 副腎ふくじん
4. 甲状腺こうじょうせん

29 膵液すいえきについて正しいのはどれか。

1. 弱アルカリ性じやくせいである。
2. 糖質分解酵素とうしつぶんかいこうそを含まない。
3. セクレチンによって分泌量ぶんびつりょうが減少げんしょうする。
4. Langerhans〈ランゲルハンス〉島とうのβ細胞さいぼうから分泌ぶんびつされる。

30 ホルモンと分泌部位ぶんびつぶいの組合せくみあわで正しいのはどれか。

1. サイロキシン ————— 副甲状腺ふくこうじょうせん
2. テストステロン ————— 前立腺ぜんりつせん
3. バソプレシン ————— 副腎皮質ふくじんひしつ
4. プロラクチン ————— 下垂体前葉かすいたいぜんよう

31 腹部 CT(別冊No. 2)を別に示す。

矢印で示す部位について正しいのはどれか。

1. 肥満細胞で構成される。
2. 厚さはBMIの算出に用いられる。
3. 厚い場合は洋梨型の体型の肥満が特徴的である。
4. 厚い場合はメタボリックシンドロームと診断される。



32 放射線療法について正しいのはどれか。

1. Gyは吸収線量を表す。
2. 主に非電離放射線を用いる。
3. 電子線は生体の深部まで到達する。
4. 多門照射によって正常組織への線量が増加する。

33 Alzheimer<アルツハイマー>病で正しいのはどれか。

1. 基礎疾患として高血圧症が多い。
2. 初期には記憶力障害はみられない。
3. アミロイドβタンパクが蓄積する。
4. MRI所見では前頭葉の萎縮が特徴的である。

34 ペースメーカー装着患者における右心室ペーシング波形の心電図(別冊No. 3)を別に示す。心電図の記録速度は通常の25 mm/秒であり、矢印で示した小さなノッチがペースメーカーからの電気刺激が入るタイミングを示している。

心電図波形によって計測した心拍数で正しいのはどれか。

1. 30/分以上、50/分未満
2. 50/分以上、70/分未満
3. 70/分以上、90/分未満
4. 90/分以上、99/分以下



35 労働者災害補償保険法に規定されているのはどれか。

1. 失業時の教育訓練給付金
2. 災害発生時の超過勤務手当
3. 有害業務従事者の健康診断
4. 業務上の事故による介護補償給付

36 高齢者における肺炎の三次予防はどれか。

1. 口腔内の衛生管理
2. 肺炎球菌ワクチンの接種
3. 呼吸リハビリテーション
4. 健康診断での胸部エックス線撮影

37 患者^{かんじゃ}と看護師^{かんごし}の関係^{かんけい}において、ラポール^{いみ}を意味するのはどれか。

1. 侵^{おか}されたくない個人^{こじん}の空間^{くうかん}
2. 人間^{にんげん}対^{たい}人間^{にんげん}の関係^{かんけい}の確立^{かくりつ}
3. 意図^{いと}的な身体^{しんたい}への接触^{せつしょく}
4. 自己^じ開示^{かいじ}

38 看護^{かんご}における情報^{じょうほう}について正しいのはどれか。

1. 尺度^{しゃくど}で測定^{そくてい}された患者^{かんじゃ}の心理^{しんり}状態^{じょうたい}は主観^{しゅかん}的情報^{てきじょうほう}である。
2. 入院^{にゅういん}費用^{ひよう}に関する患者^{かんじゃ}の不安^{ふあん}は客観^{きゃっかん}的情報^{てきじょうほう}である。
3. 観察^{かんさつ}した食事^{しょくじ}摂取^{せつしゅりょう}量は客観^{きゃっかん}的情報^{てきじょうほう}である。
4. 既往^{きおう}歴^{れき}は主観^{しゅかん}的情報^{てきじょうほう}である。

39 Barré〈バレー〉徴候^{ちようこう}の査定^{さてい}の開始^{かいし}時^じと判定^{はんてい}時^じの写真^{しゃしん} (別冊^{べっさつ}No. 4 ①～④) を別に示^{べつ しめ}す。

左上肢^{ひだりじょうし}の Barré〈バレー〉徴候^{ちようこう}陽性^{ようせい}を示^{しめ}すのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④



40 入院中の妻を亡くした直後の夫へのグリーンケアで最も適切なのはどれか。

1. 妻の話を夫とすることは避ける。
2. 夫の悲嘆が軽減してからケアを開始する。
3. 夫が希望する場合は死後の処置を一緒に行う。
4. 妻を亡くした夫のためのサポートグループへの参加を促す。

41 ヨード制限食が提供されるのはどれか。

1. 甲状腺シンチグラフィ
2. 慢性腎不全の治療
chronic renal failure
3. 肝臓の庇護
can zōu ひご
4. 貧血の治療
anemia

42 体位が身体に与える影響について正しいのはどれか。

1. 座位から仰臥位になると楽に呼吸ができる。
2. 立位と比較して座位の方が収縮期血圧は低い。
3. 仰臥位から急に立位になると脈拍が速くなる。
4. 立位から Trendelenburg〈トレンデレンブルグ〉位になると収縮期血圧が下降する。

43 洗髪を行うときに、患者のエネルギー消費が最も少ない体位はどれか。

1. 仰臥位
2. 端座位
3. 起座位
4. Fowler〈ファウラー〉位

44 前腕部からの動脈性の外出血に対する用手間接圧迫法で血流を遮断するのはどれか。

1. 鎖骨下動脈
さこつかどうみやく
2. 腋窩動脈
えきかどうみやく
3. 上腕動脈
じょうわんどうみやく
4. 橈骨動脈
とうこつどうみやく

45 看護師が医療事故を起こした場合の法的責任について正しいのはどれか。

1. 罰金以上の刑に処せられた者は行政処分の対象となる。
ばつぎんいじょうけいしよものぎょうせいしよぶんたいしやう
2. 事故の程度にかかわらず業務停止の処分を受ける。
じこていどにかかわらずぎょうむていししよぶんう
3. 民事責任として業務上過失致死傷罪に問われる。
みんじせきになぎょうむじやうかじつちししやうざいと
4. 刑法に基づき所属施設が使用者責任を問われる。
けいほうもとしよぞくしせつしやうしやせきになと

46 疾患と原因となる生活習慣の組合せで適切なのはどれか。

1. 低血圧症 ————— 飲 酒
ていけつあつしやう いん しゆ
hypotension
2. 心筋梗塞 ————— 長時間労働
しんきんこうそく ちやうじかんろうどう
myocardial infarction
3. 悪性中皮腫 ————— 喫 煙
あくせいちゆうひしゆ きつ えん
malignant mesothelioma
4. 1型糖尿病 ————— 過 食
がたどうにやうびやう か しょく
type I diabetes mellitus

47 自動体外式除細動器(AED)による電氣的除細動の適応となるのはどれか。

1. 心静止
しんせいし
asystole
2. 心房細動
しんぼうさいどう
atrial fibrillation
3. 心室細動
しんしつさいどう
ventricular fibrillation
4. 房室ブロック
ぼうしつ
atrioventricular block

- 48 術中の仰臥位の保持によって発生することがある腕神経叢麻痺の原因はどれか。
じゅつちゅう きょうがい ほじ はっせい わんしんけいそう まひ げんいん
brachial plexus palsy
1. 上腕の持続的圧迫
じょうわん じぞくてきあつぱく
 2. 前腕の回外の持続
ぜんわん かいがい じぞく
 3. 肘関節の持続的圧迫
ちゅうかんせつ じぞくてきあつぱく
 4. 上肢の90度以上の外転
じょうし どいじょう がいてん

- 49 点滴静脈内注射によって抗癌薬を投与している患者の看護で適切なのはどれか。
てんてきじょうみゃくないちゅうしゃ こうがんやく とうよ かんじゃ かんご てきせつ
1. 悪心は薬で緩和する。
おしん くすり かんわ
 2. 留置針は原則として手背に挿入する。
りゅうちしん げんそく しゅはい そうじゅう
 3. 血管痛がある場合は直ちに留置針を差し替える。
けっかんつう ばあい ただ りゅうちしん さか
 4. 2回目以降の投与では過敏症の症状の確認は必要ない。
かいめい こうとうよ かびんしょう しょうじょう かくにん ひつよう

50 Aさん(60歳、男性)は、慢性心不全の終末期で、積極的な治療を行わないことを希望している。現在、入院中で、リザーバマスク10L/分で酸素を吸入し、水分制限がある。時々息切れがみられるが、Aさんは面会に来た長女との会話を楽しみにしている。バイタルサインは呼吸数28/分、脈拍110/分、血圧76/50 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)88%であった。

このときの対応で最も適切なのはどれか。

1. 面会は制限しない。
めんかい せいげん
2. 水分制限を厳しくする。
すいぶんせいげん きび
3. Aさんに仰臥位を維持してもらう。
ぎょうがい いじ
4. 面会中は酸素マスクを鼻腔カニューラに変更する。
めんかいちゅう さんそ びくう へんこう

51 Aさん(42歳、女性)は、3日前から微熱と強い全身倦怠感を自覚したため病院を受診したところ、肝機能障害が認められ、急性肝炎の診断で入院した。1か月前に生の牡蠣を摂取している。Aさんはこれまで肝臓に異常を指摘されたことはなく、家族で肝臓疾患を罹患した者はいない。

Aさんが罹患した肝炎について正しいのはどれか。

1. 細菌感染である。
2. 劇症化する危険性がある。
3. 慢性肝炎に移行しやすい。
4. インターフェロン療法を行う。

52 ホルモン負荷試験について正しいのはどれか。

1. ホルモン分泌異常を生じている部位の推定に用いる。
2. 分泌異常が疑われるホルモンを投与する。
3. 前日の夕食から禁食にする。
4. 入院が必要である。

53 乳癌の自己検診法の説明で適切なのはどれか。

1. 月経前に行う。
2. 年に1回実施する。
3. 指先を立てて乳房に触る。
4. 乳房の皮膚のくぼみの有無を観察する。

54 高齢者の看護において目標志向型思考を重視する理由で最も適切なものはどれか。

1. 疾患の治癒促進
2. 老化現象の進行の抑制
3. 病態の関連図の作成の効率化
4. 生活全体を豊かにするケアの実践

55 高齢者の活動と休息のリズムの調整について最も適切なものはどれか。

1. 午前中に日光を浴びる機会をつくる。
2. 昼食後に入浴する。
3. 昼寝をしない。
4. 就寝前に水分を多く摂る。

56 加齢による咀嚼・嚥下障害の特徴で正しいのはどれか。

1. 咳嗽反射が低下する。
2. 口腔内の残渣物が減る。
3. 唾液の粘稠度が低下する。
4. 食道入口部の開大が円滑になる。

57 Aさん(85歳、女性)は、両側の感音難聴で「音は聞こえるけれど、話の内容が聞き取れないので困っています」と話した。

Aさんに対する看護師の対応で適切なものはどれか。

1. 大きな声で話す。
2. 話の内容をより詳しく説明する。
3. Aさんが文字盤を使えるようにする。
4. 看護師の口の動きが見えるように話す。

58 Lewy(レビー)小体型認知症の初期にみられる症状はどれか。
dementia with Lewy bodies

1. 幻視
2. 失語
3. 脱抑制
4. 人格変化

59 介護保険法で「入所する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行うことを目的とする施設」と規定されているのはどれか。

1. 介護老人保健施設
2. 介護老人福祉施設
3. 介護療養型医療施設
4. 介護療養型老人保健施設

60 出産や育児に関する社会資源と法律の組合せで正しいのはどれか。

- | | | |
|----------|-----|-------|
| 1. 入院助産 | ——— | 児童福祉法 |
| 2. 出産扶助 | ——— | 母体保護法 |
| 3. 出産手当金 | ——— | 母子保健法 |
| 4. 養育医療 | ——— | 児童手当法 |

61 Aさん(16歳、女子)。身長160cm、体重40kg。1年で体重が12kg減少した。

Aさんは6か月前から月経がみられないため婦人科クリニックを受診し、
体重減少性無月経と診断された。

amenorrhea due to weight loss

今後、Aさんの無月経が長期間続いた場合、増加することが予想されるのはどれか。

1. 血糖値
2. 骨吸収
3. 体脂肪率
4. エストロゲン

62 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)で正しいのはどれか。

1. 婚姻の届出をしていない場合は保護の対象とはならない。
2. 暴力を受けている者を発見した者は保健所へ通報する。
3. 暴力には心身に有害な影響を及ぼす言葉が含まれる。
4. 母子健康センターは被害者の保護をする。

63 妊婦の感染症と児への影響の組合せで正しいのはどれか。

- | | |
|---------------|--------|
| 1. 風疹 | 白内障 |
| 2. 性器ヘルペス | 聴力障害 |
| 3. トキソプラズマ症 | 先天性心疾患 |
| 4. 性器クラミジア感染症 | 小頭症 |

64 Aさん(68歳、女性)は、胃癌のため入院した。入院初日に「夫も癌になって、亡くなる前に痛みで苦しんでいました。私も痛みが怖いんです」と言った。看護師は、Aさんが夫のように苦しむことへの恐怖や不安があることが分かり、Aさんとともに対処法について考えた。

この時点での患者-看護師関係の段階はどれか。

1. 方向付け
2. 同一化
3. 開拓利用
4. 問題解決

65 訪問看護の利用者に関する訪問看護と病院の外来看護の連携で適切なのはどれか。

1. 訪問看護報告書は外来看護師に提出する。
2. 利用者の個人情報の相互共有に利用者の承諾書は不要である。
3. 利用者が使用している医療材料の情報を外来看護師と共有する。
4. 訪問看護師から外来看護師に利用者の外来診察の予約を依頼する。

66 Aさん(42歳、女性)は、交通事故による脊髄損傷で入院し、リハビリテーションを受けた。Aさんの排泄の状況は、間欠的導尿による排尿と、坐薬による3日に1回の排便である。同居する夫と実母が導尿の指導を受け、退院することになった。初回の訪問看護は退院後3日目とし、その後は訪問看護を週2回受けることになった。

入院していた医療機関から提供された患者情報のうち、初回訪問のケア計画を立案するのに最も優先度の高い情報はどれか。

1. 食事の摂取量
2. 1日の導尿回数
3. 最終排便の日時
4. リハビリテーションの内容

67 A君(6歳、男児)は、父母と姉との4人で暮らしている。3歳児健康診査で運動機能の発達の遅延を指摘され、5歳のときに Duchenne<デュシェンヌ>型筋ジストロフィーの確定診断を受けた。現在は、床からの立ち上がり動作に介助が必要である。見守りが必要ではあるが、室内の歩行は自立している。在宅支援サービスは利用していない。A君の外来受診時に母親から「最近、Aの世話をしていると、8歳の姉が私にしがみついて離れないので困ります」と看護師に相談があった。

このときの看護師の対応で最も優先されるのはどれか。

1. 姉の小学校の養護教諭に家庭訪問を依頼する。
2. 姉にA君の歩行の見守りをさせるよう勧める。
3. 短期入所を利用して父母と姉とで旅行するよう勧める。
4. 居宅介護を利用して母が姉と関わる時間を確保することを提案する。

68 在宅で訪問看護師が行う要介護者の入浴に関する援助で適切なものはどれか。

1. 入浴前後に水分摂取を促す。
2. 浴室の換気は入浴直前に行う。
3. 浴槽に入っている間に更衣の準備をする。
4. 入浴前の身体状態の観察を家族に依頼する。

69 Aさん(65歳、女性)は、夫と実父との3人暮らしである。脊柱管狭窄症の術後、地域包括ケア病棟に入院中である。退院後は自宅に戻り室内で車椅子を利用する予定である。Aさんの障害高齢者の日常生活自立度判定基準はB-1である。

看護師による家族への指導で最も適切なものはどれか。

1. 家族の生活習慣を中心に屋内環境を整備する。
2. 夜間の車椅子によるトイレへの移動は制限する。
3. 退院後の生活の課題に応じて福祉用具を選定する。
4. ベッドから車椅子への移動介助にリフトの導入を勧める。

70 特定行為に係る看護師の研修制度に関して正しいのはどれか。

1. 特定行為は診療の補助行為である。
2. 研修は都道府県知事が指定する研修機関で実施する。
3. 研修を受けるには10年以上の実務経験が必要である。
4. 看護師等の人材確保の促進に関する法律に定められている。

71 ある組織では、リーダーの支援の下でグループ討議を経て方針を決定している。

このリーダーシップスタイルはどれか。

1. 委任的リーダーシップ
2. 参加的リーダーシップ
3. 教示的リーダーシップ
4. カリスマ的リーダーシップ

72 Aさん(32歳、女性)は小児専門の病院に勤務していたが、国際保健医療協力プログラムで中央アフリカ地域の州事務所に母子保健担当の看護師として派遣された。この地域は長く紛争が続き、母子の健康状態が不良と聞いた。

Aさんが現地で最初に行う業務はどれか。

1. 経口補水液の配布
2. 乳幼児の栄養状態の把握
3. 女性の識字率向上の支援
4. 病院における母子看護業務の把握

73 もっと 順応じゅんのうしにくいのはどれか。

1. 視し覚かく
2. 嗅きゅう覚かく
3. 味み覚かく
4. 触しょつ覚かく
5. 痛つう覚かく

74 きりつせいていけつあつ 起立性低血圧ただについて正しいのはどれか。

1. 脱水だっすいとの関連かんれんはない。
2. 高齢者こうれいしゃには起おこりにくい。
3. 塩分えんぶんの過剰かじょう摂取せつしゅによって起おこる。
4. 脳血流のうけつりゅうの一時的いちじてきな増加ぞうかによって生しょうじる。
5. 自律神経障害じりつしんけいしょうがいを起おこす疾患しっかんで生しょうじやすい。

75 平成26年へいせい (2014年ねん) の人口動態統計じんこうどうたいとうけいにおける妻つまの平均初婚年齢へいきんしよこんねんれいはどれか。

1. 23.4歳さい
2. 25.4歳さい
3. 27.4歳さい
4. 29.4歳さい
5. 31.4歳さい

76 じんじゅうきょうつうかんせんしやう か ばいかい
人獣共通感染症で蚊が媒介するのはどれか。

1. Q 熱
Q fever
2. 黄 熱
yellow fever
3. 狂犬病
rabies
4. オウム病
psittacosis
5. 重症熱性血小板減少症候群<SFTS>
severe fever with thrombocytopenia syndrome

77 いるやうしやく かい ごしやく きやうむ ほうりつ きてい
医療職や介護職の業務で法律に規定されているのはどれか。

1. 介護福祉士は訪問看護ができる。
2. 薬剤師は薬を処方することができる。
3. 臨床検査技師は肘静脈から採血ができる。
4. 看護師は病院の管理者となることができる。
5. 診療放射線技師はエックス線写真に基づく診断ができる。

78 ししゅんき おや かぞく かんけい いぞんてき かんけい たいとう かんけい へんか せいしんてき
思春期に、親や家族との関係が依存的な関係から対等な関係に変化し、精神的に
じりつ しめ
自立することを示すのはどれか。

1. 自我同一性の獲得
2. 心理的離乳
3. 愛着形成
4. 探索行動
5. 母子分離

79 排泄が自立していない男児の一般尿を採尿バッグを用いて採取する方法で正しいのはどれか。

1. 採尿バッグに空気が入らないようにする。
2. 採尿口の下縁を陰茎の根元の位置に貼付する。
3. 採尿バッグを貼付している間は座位とする。
4. 採取できるまで1時間ごとに貼り替える。
5. 採取後は貼付部位をアルコール綿で清拭する。

80 Aちゃん(6歳、女兒)は、左上腕骨顆上骨折と診断され、牽引治療のために入院した。医師からAちゃんと家族に対し、牽引と安静臥床の必要性を説明した後、弾性包帯を用いて左上肢の介達牽引を開始した。

Aちゃんに対する看護で適切なのはどれか。

1. 食事を全介助する。
2. 左手指の熱感を観察する。
3. 抑制ジャケットを装着する。
4. 1日1回は弾性包帯を巻き直す。
5. 痛みに応じて牽引の重錘の重さを変更する。

81 精神科病院の閉鎖病棟に入院中の患者宛てに厚みのある封筒が届いた。差出人は記載されていなかった。

当日の看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 患者に渡さず破棄する。
2. 患者による開封に立ち会う。
3. 開封せず患者の家族に転送する。
4. 看護師が開封して内容を確認してから患者に渡す。
5. 退院まで開封せずにナースステーションで保管する。

82 かいようせいだいちょうえん とくちょう ただ潰瘍性大腸炎の特徴で正しいのはどれか。 ふた えら2つ選べ。
ulcerative colitis

1. 遺伝性である。
2. ちよくちょう こうはつ直腸に好発する。
3. じゅうそうかいよう とくちょう縦走潰瘍が特徴である。
4. だいちょうがん きけんいん し大腸癌の危険因子である。
colorectal cancer
5. たいりょう すいようせい げり とくちょう大量の水様性下痢が特徴である。

83 じどうそうだんしょ ただ児童相談所について正しいのはどれか。 ふた えら2つ選べ。

1. くに せつち国が設置する。
2. じどうふくしし はいち児童福祉司が配置されている。
3. ははおや いちじ ほご きのう も母親を一時保護する機能を持つ。
4. ちてきしょうがい かん そうだん う知的障害に関する相談を受ける。
5. じどう ほけん ただ えいせい ちしき ふきゅう はか児童の保健について正しい衛生知識の普及を図る。

84 こくさいせいかつ きのうぶんるい こうせいよう そ国際生活機能分類<ICF>の構成要素はどれか。 ふた えら2つ選べ。

1. さん か参加
2. きゅう そく休息
3. しゃかいてきふり社会的不利
4. せいかつかんれんどう さ生活関連動作
5. しんしん きのう こうぞう心身機能・構造

85 Aさん(48歳、男性)は、右眼の視野に見えにくい部位があることに気づき眼科を受診した。暗い部屋で見えにくいことはない。頭痛や悪心はない。

Aさんの疾患を診断するのに必要な検査はどれか。2つ選べ。

1. 脳波検査
2. 色覚検査
3. 眼圧測定
4. 眼底検査
5. 眼球運動検査

86 麻疹に関して正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 合併症として脳炎がある。
2. 感染力は発疹期が最も強い。
3. 効果的な抗ウイルス薬がある。
4. 2回のワクチン定期接種が行われている。
5. エンテロウイルスの感染によって発症する。

87 Aさん(30歳、女性)。月経周期は28日型で規則的である。5日間月経があり、現在、月経終了後14日が経過した。

この時期のAさんの状態で推定されるのはどれか。2つ選べ。

1. 排卵後である。
2. 乳房緊満感がある。
3. 子宮内膜は増殖期である。
4. 基礎体温は低温相である。
5. 子宮頸管の粘液量が増加する。

88 入院集団精神療法において、看護師が担うリーダーの役割で正しいのはどれか。
ふた えら
2つ選べ。

1. 患者間の発言量を均等にする。
2. 沈黙も意味があると受け止める。
3. メンバーの座る位置を固定する。
4. 患者の非言語的サインに注目する。
5. 話題が変わった場合はすぐに戻す。

89 精神保健医療福祉に関する法律について正しいのはどれか。ふた えら
2つ選べ。

1. 自殺対策基本法に基づき自殺総合対策大綱が策定されている。
2. 障害者基本法の対象は身体障害と精神障害の2障害と規定されている。
3. 発達障害者支援法における発達障害の定義には統合失調症が含まれる。
4. 精神通院医療の公費負担は精神保健福祉法による自立支援医療で規定されている。
5. 犯罪被害者等基本法は犯罪被害者等の権利利益の保護を図ることを目標としている。

90 災害拠点病院について正しいのはどれか。ふた えら
2つ選べ。

1. 広域災害医療に対応する。
2. 災害発生時に指定される。
3. 医療救護班の派遣機能を持つ。
4. 免震構造であることが指定要件である。
5. 救急救命士の配置が義務付けられている。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 91～93 の問いに答えよ。

A さん (53 歳、男性、会社員) は、1 週間前から倦怠感が強く、尿が濃くなり、眼の黄染もみられたため、近くの医療機関を受診し黄疸と診断された。総合病院の消化器内科を紹介され受診した。時々、便が黒いことはあったが、腹痛はなかった。既往歴に特記すべきことはない。来院時のバイタルサインは、体温 36.8℃、脈拍 68/分、血圧 134/82 mmHg であった。血液検査データは、アルブミン 4.2 g/dL、AST〈GOT〉 69 IU/L、ALT〈GPT〉 72 IU/L、総ビリルビン 14.6 mg/dL、直接ビリルビン 12.5 mg/dL、アミラーゼ 45 IU/L、Fe 27 μg/dL、尿素窒素 16.5 mg/dL、クレアチニン 0.78 mg/dL、白血球 9,200/μL、Hb 11.2 g/dL、血小板 23 万/μL、CRP 2.8 mg/dL であった。

91 A さんのアセスメントで正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 脱水がある。
だっすい
2. 閉塞性黄疸である。
へいそくせいおうだん
obstructive jaundice
3. 膵炎を発症している。
すいえん はっしょう
pancreatitis
4. 急性腎不全を発症している。
きゅうせいじん ふぜん はっしょう
acute renal failure
5. 鉄欠乏性貧血の可能性がある。
てつけつぼうせいひんけつ か のうせい
iron-deficiency anemia

92 腹部造影CTにて膵頭部癌が疑われ、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)が行われ、膵液細胞診と膵管擦過細胞診とが行われた。また、内視鏡的経鼻胆道ドレナージ(ENBD)が行われ、ドレナージチューブが留置された。処置後18時間、チューブからの排液は良好で、腹痛はなく、Aさんはチューブが固定されている鼻翼の違和感を訴えている。バイタルサインは、体温37.1℃、脈拍76/分、血圧128/80 mmHgであった。血液検査データは、総ビリルビン11.2 mg/dL、直接ビリルビン8.2 mg/dL、アミラーゼ96 IU/L、白血球9,800/ μ L、CRP 3.5 mg/dLであった。

このときのAさんへの看護で正しいのはどれか。

1. 禁食が続くことを伝える。
2. ベッド上安静が必要であることを伝える。
3. 鼻翼にドレナージチューブが接触していないか確認する。
4. ドレナージチューブを持続吸引器に接続する準備をする。

93 細胞診の結果、クラスVで膵頭部癌と診断された。上部消化管内視鏡検査で十二指腸に出血を伴う膵癌の浸潤を認め、胃切除を伴う膵頭十二指腸切除術が行われた。術後、中心静脈栄養法(IVH)を行ったがインスリンの投与は必要ないと判断された。経過は良好であり、食事が開始された。

このときのAさんに対する説明で適切なのはどれか。

1. 便秘が起こりやすい。
2. 脂質の制限は不要である。
3. カロリー制限が必要となる。
4. ダンピング症状が起こりやすい。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 94～96 の問いに答えよ。

A さん(25 歳、男性)は、オートバイの単独事故による交通外傷で救急病院に入院した。外傷部位は左上下肢で、左脛骨骨折に対しては長下肢ギプス固定をした。左前腕部は不全切断で、再接着術が行われた。

94 入院後 3 日、左足趾のしびれと足背の疼痛を訴えた。

看護師の観察で適切なものはどれか。2 つ選べ。

1. 膝窩動脈を触知する。
2. 足背の皮膚色を観察する。
3. 足趾の屈伸運動が可能か確認する。
4. Volkmann〈フォルクマン〉拘縮の有無を確認する。
5. ギプスを数 cm カットして浮腫の有無を確認する。

95 入院後 6 日、左前腕部の接着部から末梢側が壊死し、前腕切断術が行われた。術

後 4 日、A さんは幻肢痛を訴えた。

看護師の対応で適切なものはどれか。

1. 切断端に弾力包帯を巻く。
2. 切断端のマッサージを行う。
3. 肘関節を屈曲したままにする。
4. 鎮痛薬では幻肢痛を軽減できないことを説明する。

96 下肢は長下肢ギプスから膝蓋腱支持ギプスに変更され、左上肢は義肢が装着されて自宅へ退院することになった。

Aさんに対する退院指導で適切なのはどれか。

1. 外出を控えるように指導する。
2. 左前腕部に意識を集中しないように説明する。
3. 義肢を装着して動作訓練を計画的に進めるよう指導する。
4. 受傷前と同じ日常生活動作〈ADL〉ができることを目標に指導する。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 97～99 の問いに答えよ。

Aさん(71歳、女性)は、要介護1で、ベッドからの立ち上がりや入浴などに一部
介助を必要とするが、歩行器で室内を移動できる。失禁することがあるため失禁用の
パッドを装着している。Aさんは介護老人保健施設の短期入所<ショートステイ>を利
用している。入所した日の夕方から、水様便と嘔吐とがみられ、感染性胃腸炎が疑わ
れてトイレ付きの個室に移動した。
infectious gastroenteritis

97 感染症の拡大を予防する方法で適切なのはどれか。

1. 使い捨ての食器に変える。
2. 汚物の付着した衣類は焼却処分する。
3. 排泄介助を行う看護師はガウンを装着する。
4. Aさんの手指を速乾性擦式の手指消毒薬で消毒する。
5. Aさんが触れた歩行器を80%エタノールで清拭する。

98 Aさんは下痢と嘔吐の症状が続き、発症当日の夜から、集中力の低下と頻脈とが
みられた。口渇はない。翌朝は症状が軽減したものの、午後になり見当識障害も現
れた。

Aさんに起きている状態として最も考えられるのはどれか。

1. 脱水
2. 硬膜下血腫
subdural hematoma
3. 認知症の中核症状
dementia
4. 隔離による拘禁症状

99 はっしょう ふつ か め ご ご せんこつ ぶ ちよっけい てい ど じょくそう
発症から2日目の午後、Aさんの仙骨部に直径2cm程度のステージIの褥瘡が
しゅつげん おう と しょうしつ げり つづ じかん しょう
出現した。嘔吐は消失したが下痢が続き、2～5時間ごとにトイレを使用してい
る。

じてん じょくそう たい かん ご もっと ゆうせん
この時点の褥瘡に対する看護で最も優先されるのはどれか。

1. えし そしき じょきよ
壊死組織の除去
2. エアマットレスのしょう
使用
3. はっすいせい たか と ふ
撥水性の高いクリーム塗布
4. あえん い えいよう ほ じょしょくひん せっしゅ
亜鉛入りの栄養補助食品の摂取

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 100～102 の問いに答えよ。

くん げつ だん じ げつ じ けんこうしん さ じょうどう かれつ うたが してき しょうに か
A君(2か月、男児)は、1か月児健康診査で尿道下裂の疑いを指摘され、小児科を
じゅしん けんさ けつ か えん い がたじょうどう かれつ しんだん hypospadias しゅ じ い ははおや たい たいじゅう
受診した。検査の結果、遠位型尿道下裂と診断された。主治医から母親に対し、体重
ぞう か ま さいぜん ご distal hypospadias じょうどう けいせいじゅつ おこな ひつようせい せつめい ははおや かん
の増加を待ち1歳前後で尿道形成術を行う必要性について説明があった。母親から看
ごし たい しゅじゅつ う あいだ す どう すごしたらよいですか」と質問があった。

100 かん ごし せつめい てきせつ
看護師の説明で適切なのはどれか。

1. 「尿量を計測してください」
2. 「手術まで外来の受診はありません」
3. 「予防接種の時期は主治医と相談してください」
4. 「オムツを交換するたびに尿道口を消毒してください」

くん さい げつ じょうどう けいせいじゅつ おこな にゅういん しゅじゅつとうじつ てんてきじょう
101 A君は1歳3か月になり、尿道形成術を行うために入院した。手術当日、点滴静
みやくないちゅうしゃ じ ぞくてんてき じょうどう そうじゅう きしつ そうぶ いん
脈内注射による持続点滴と尿道カテーテルが挿入された状態で帰室した。創部の陰
けいぜんたい ざい ほ ご しゅじゅつよくじつ
茎全体はガーゼとフィルムドレッシング材で保護されていた。手術翌日、ガーゼに
ちやくかつしよく けつえき ふちやく そうぶ はいべん おせん はず そうぶ
茶褐色の血液が付着していた。創部が排便で汚染されており、ガーゼを外すと創部
けい ど しゅちょう のう ふちやく じょうどう しゅうい じょう も
に軽度腫脹がみられているが膿の付着はない。尿道カテーテルの周囲から尿が漏れ
ていた。A君は「ママ」と言い不機嫌に泣いている。体温 37.0℃、呼吸数 28/分、
みやくはく ふん けつあつ
脈拍 120/分、血圧 100/58 mmHg であった。

じてん くん じょうたい もと か のうせい たか
この時点のA君の状態として最も可能性が高いのはどれか。

1. 創部痛はない。
2. 出血が続いている。
3. 創部の感染を起こしている。
4. 尿道カテーテルが閉塞している。

102 A君は、手術を受けて1週が経過した。全身状態が安定したため、尿道カテーテルが抜去された。医師から母親に「3日間、経過を観察し、問題がなければ退院できます。退院1か月後に外来を受診してください」と説明があった。退院から外来受診までの日常生活の留意点に関して看護師が母親へ指導することになった。

指導で適切なのはどれか。

1. 「水分は控えましょう」
2. 「入浴は避けましょう」
3. 「1日1回導尿をしましょう」
4. 「腹ばいの姿勢は避けましょう」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 103～105 の問いに答えよ。

くん さい げつ だん じ りょうしん にん ぐ のうせい ま ひ しんだん じりき ざ い
A君(2歳6か月、男児)。両親との3人暮らし。脳性麻痺と診断され、自力で座位
の保持と歩行はできず専用の車椅子を使用している。話しかけると相手の目を見て笑
がお み せ なん ごと はな しょく じ しょく つか
顔を見せ、喃語を話す。食事はきざみ食でスプーンを使うことができるが、こぼすこ
とが多く介助が必要である。排泄、清潔および更衣は全介助が必要である。

103 てい き じゅしん がいらい じゅしん たいおん こきゅうすう
定期受診のため外来を受診した。バイタルサインは、体温 37.5℃、呼吸数
32/分、心拍数 120/分、血圧 108/48 mmHg であった。両上肢と手関節は屈曲、両
ふん しんぱくすう ふん けつあつ りょうじょうし しゅかんせつ くつきよく りょう
下肢は交差伸展し、背を反らしており、全身が緊張している。母親は看護師に「A
かし こうさしんでん せ そ ぜんしん きんちょう ははおや かんごし
は、便は出ない日がありますが大体毎日出ています。時々夜遅くまで眠らない日
は、便は出ない日がありますが大体毎日出ています。時々夜遅くまで眠らない日
あります。日中は機嫌良くしています」と話した。

ははおや し どう ないよう ゆうせん ど たか
母親に指導すべき内容で優先度が高いのはどれか。

1. かんせん よぼう
感染予防
2. きんきんちょう かん わ
筋緊張の緩和
3. はいべん
排便コントロール
4. こきゅうきのう あっ か よぼう
呼吸機能の悪化予防
5. すいみん
睡眠パターンのコントロール

104 くん しょく じ かんごし ははおや たず た た おお た
A君の食事について看護師が母親に尋ねると「食べこぼしが多く、食べながらう
とうとしてしまい時間がかかるし、十分な量も食べられていません」と話した。

くん しょく じ かん ははおや し どう もっと てきせつ
A君の食事に関する母親への指導で最も適切なのはどれか。

1. けいちょうえいようざい かい し い し そうだん
「経腸栄養剤の開始について医師と相談しましょう」
2. 「ホームヘルパーの依頼を検討しましょう」
いらい けんとう
3. 「食事時間を20分以内にしましょう」
しょく じ じかん ぶん い ない
4. 「ペースト食にしてみましょう」
しょく

105 現在、A君の母親は妊娠16週で順調に経過している。母親は「出産のときにAを
預かってくれるところを探そうと思っています」と看護師に話した。父親は会社員
で、毎日20時ころ帰宅する。A君の祖父母は遠方に住んでおり支援をすることが
できない。

母親に情報提供する社会資源で最も適切なのはどれか。

1. 乳児院
2. 病児保育
3. 情緒障害児短期入所施設
4. レスパイトを目的とする入院
5. ファミリーサポートセンター

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 106～108 の問いに答えよ。

ざいたい しゅうふつ か せいじょうぶんべん しゅっせい だん じ しゅっせい じ たいじゅう しんちよう せい
在胎 40 週 2 日、正常分娩で出生した男児。出生時体重 3,300 g、身長 48.5 cm。生
ご にち たいじゅう
後 1 日の体重は 3,200 g。バイタルサインは腋窩温 37.2℃、呼吸数 70/分、心拍数
ふん しゅっせい ご じ かん はいじょう かい はいべん かい
130/分。出生後 24 時間までに、排尿が 1 回、排便が 1 回みられた。

106 じ じょうたい せいじょう いっだつ
児の状態じょうたいで正常せいじょうから逸脱いっだつしているのはどれか。

1. 体 温
たい おん
2. 呼吸数
こきゅうすう
3. 心拍数
しんぱくすう
4. 排尿回数
はいじょうかいすう
5. 排便回数
はいべんかいすう

107 せい ごふつ か い し しんさつ もんだい かくにん ぼ じ どうしつ かい し しんたい
生後 2 日、医師の診察で問題がないことが確認され、母児同室を開始した。身体
そくてい おこな じ しんせい じしつ いそう じ し し くつきよく しせい たいじゅうけい
測定を行うため、児を新生児室に移送した。児は四肢を屈曲させた姿勢で、体重計
の せ た と き りょうて ひろ じょうし の だ き か か える よう な うご き を し た。
ふくぶ きょうかい ふめいりょう こうはん さんざい えきか そけいぶ じょう ふ ちゃく
腹部には境界の不明瞭な紅斑が散在し、腋窩と鼠径部にはクリーム状のものが付着
していた。

じ かん ご てきせつ
児の看護で適切なものはどれか。

1. 手足を伸ばして寝かせる。
てあし の ね
2. 異常な反射があったと医師に報告する。
いじょう はんしゃ い し ほうこく
3. 腹部の紅斑が散在している部位を消毒する。
ふくぶ こうはん さんざい ぶ い しやうどく
4. 腋窩と鼠径部のクリーム状の付着物は洗い落とさない。
えきか そけいぶ じょう ふ ちゃくぶつ ちら お

108 生後3日、児の体重は3,000 gになった。バイタルサインに異常はみられない。
手掌と足底に黄疸がみられ、傾眠傾向にあった。血清ビリルビン値18.5 mg/dL。
母児同室を続けるため、コットに設置可能な光線療法器を用いて治療を行うことにな
った。

児の光線療法に関する母親への説明で適切なのはどれか。

1. 「体温は低下します」
2. 「便の回数は減ります」
3. 「おむつは外して行います」
4. 「直接授乳は続けましょう」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 109～111 の問いに答えよ。

A さん (38 歳、男性、会社員)。両親と 3 人暮らし。25 歳のころに双極性障害と診断された。3 か月前から気分が落ち込み夜も眠れず、食欲もなくなり仕事を休むことが多くなってきた。無力感を感じるようになり、休職して精神科病棟に任意入院した。入院後は 1 日中ベッドで横になって過ごし、他の患者との交流もみられない。看護師が話しかけても簡単な返事をするだけで無表情である。食事は病室で摂取しており、摂取量は少ない。

109 入院後 1 週が経過した。A さんはベッドに横になりじっと窓を見つめていることが多くなった。看護師が何をしているのか話しかけると、A さんは「死にたいと思っている」と答えた。

このときの看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 話題を変える。
2. 気分転換を促す。
3. すぐに良くなると励ます。
4. 自殺しないことを A さんに約束してもらう。

110 入院後4週が経過した。昨日は、午前中ホールに1回出てきたが、すぐに病室に戻ってしまった。今朝、看護師がホールに出てきたAさんに「おはようございます」と声を掛けたところ、「おはよう」と答えただけで病室に戻ってしまった。夕方には他の患者とも会話をしたり、一緒にテレビを見たりするようになった。看護師が気分について尋ねると「まだ死にたい気持ちが残っている」と話した。

このときのAさんの状態のアセスメントとして正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 過活動である。
2. 気分には日内変動がある。
3. 自分に注目して欲しいと思っている。
4. 行動の回復と感情の回復に差が生じている。
5. 看護師に声を掛けられたことに怒りを感じている。

111 入院後3か月が経過した。Aさんは気分が安定し、食事も全量摂取できるようになり、日中は作業療法に週4日参加している。「もう死にたい気持ちはなくなりました。でも、まだ短時間しか新聞を読めないのです、仕事に戻るのが不安です」と話している。

Aさんの退院に向けた支援として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 転職を勧める。
2. 上司との面会を設定する。
3. 再発のサインを一緒に見つける。
4. 自信が持てるようになるまで待つ。
5. 作業療法に集中力を高めるプログラムを入れる。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。

Aさん(23歳、女性)は、大学を卒業後、インテリア会社に事務職として就職した。入社後に「ユニフォームが似合うようになりたい」とダイエットを始め、次第にやせがめ立つようになった。母親がAさんに食事を作っても「太るのが怖い」と言って食べず、体重は2週間で5kg減少した。心配した母親とともに精神科外来を受診し、摂食障害と診断され、開放病棟へ入院した。入院時、身長160cm、体重37kgであった。

112 入院から1週間の期間に観察すべき項目はどれか。2つ選べ。

1. 浮腫の程度
2. 過食の有無
3. 活動量の低下
4. 嚥下障害の有無
5. 振戦せん妄の有無

113 入院後2週が経過した。Aさんは食事の時間に食べ物を細かく刻み、1時間以上時間をかけるが、摂取量はスプーン1杯ほどである。ベッド上でストレッチを2時間行っている。Aさんと話し合ったところ「私はこの病棟で一番太っているから少しでも痩せなきゃ」と話した。

看護師の関わりとして適切なのはどれか。

1. 体重測定回数を増やす。
2. 鏡でAさんの全身を映して見せる。
3. 痩せたいという気持ちについて話し合う。
4. Aさんは看護師よりも痩せていると伝える。

114 入院後3か月が経過した。Aさんは体重が43kgまで増加し、主治医と相談して、退院の準備をすることになった。退院の話題が出ると、Aさんと母親は口論することが多くなった。父親は出張が多く、面会に来たのは一度のみであった。退院に向けてAさんと家族に勧めることとして最も適切なのはどれか。

1. 栄養指導
2. 作業療法
3. 家族療法
4. 単身生活の開始

つぎ ぶん よ
次の文を読み 115～117 の問いに答えよ。

A さん(70 歳、男性)。妻(74 歳)と 2 人で暮らしている。A さんがトイレに入った
まま戻ってこないのので妻が見に行くと、トイレで倒れていた。妻が発見直後に救急車
を要請した。救急隊からの情報ではジャパン・コーマ・スケール(JCS)Ⅱ-20 で右片
麻痺があり、バイタルサインは、体温 36.5℃、呼吸数 16/分、脈拍 108/分、血圧
200/120 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)96% であった。

115 救命救急センター到着時に観察する項目で最も優先するのはどれか。

1. 体温
2. 心電図波形
3. 意識レベル
4. 尿失禁の有無

116 頭部 CT の結果、高血圧性脳出血と診断され、集中治療室に入室した。入室時に
はジャパン・コーマ・スケール(JCS)Ⅱ-30。体温 37.0℃、呼吸数 16/分、脈拍
82/分、血圧 154/110 mmHg。入室から 8 時間後、体温 37.2℃、呼吸数 18/分、脈
拍 50/分、血圧 208/106 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)97% になり、呼
びかけと痛み刺激に開眼しなくなった。

このときの A さんの状態はどれか。

1. 低酸素脳症
hypoxic encephalopathy
2. 脳圧亢進症状
3. 髄膜刺激症状
4. 正常圧水頭症
normal pressure hydrocephalus

117 入院から4週が経過し、病状が安定して意識が回復した。Aさんは後遺症として運動性失語が残り、言葉がうまく発せられないため涙ぐむことがあった。妻は面会后「夫が話す言葉が分からず、どう接すればよいか分からない」と言って戸惑っていた。

妻に対する対応で最も適切なのはどれか。

1. 「いつもどおり話をしてあげてください」
2. 「看護師も同席してAさんとお話ししましょう」
3. 「リハビリテーションで話せるようになりますよ」
4. 「分かりやすい言葉で話しかけてあげてください」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 118、119 の問いに答えよ。

A さん(89 歳、女性)は、認知症と診断されており、認知症高齢者の日常生活自立
度判定基準はランク II b である。定年退職後の長男(66 歳、未婚)との 2 人暮らし。
A さんは「役所の世話になるのは嫌だ」と言い、要介護認定を受けることを承諾してい
なかった。しかし、A さんが室内で転倒したことをきっかけに、要支援 1 の判定を受
け介護予防訪問看護が導入された。

118 A さんは「家事は私の仕事だ。息子にも他人にも任せられない」と言い、夕方にな
ると、歩いて 5 分程度のスーパーマーケットへ買い物に行くことが長年の習慣とな
っている。最近、夜になっても帰宅せず、長男が探しに行くとスーパーマーケット
から離れた公園のベンチに座っていることが数回あった。長男は訪問看護師に「母
は私が後をついてきたと思い込んで怒るんです。このままでは心配です」と相談し
た。

看護師が長男へ助言する内容で最も適切なのはどれか。

1. 「先に公園で待っていてはどうか」
2. 「ホームヘルパーの利用をお勧めします」
3. 「A さんに買い物はやめるよう話しませんか」
4. 「荷物を持つという理由で同行してはどうか」

119 ある冬の訪問時、長男が「母がここ数日寒さを訴え、居間にある電気こたつの温
度を最も高くして、肩までもぐり込んでそのまま朝まで眠ってしまう」と話した。

長男の話を受けて、看護師が最初に観察する項目で最も優先度が高いのはどれ
か。

1. 筋力低下の有無
2. 感染徴候の有無
3. 認知機能のレベル
4. 全身の皮膚の状態

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 120 の問いに答えよ。

A さん (70 歳、男性) は、妻と長男との 3 人暮らしである。左被殻出血で入院し、歩行訓練および言語訓練のリハビリテーションを行い自宅に退院した。退院時の検査所見は、HDL コレステロール 40 mg/dL、LDL コレステロール 140 mg/dL、トリグリセリド 150 mg/dL であった。退院後、週 1 回の訪問看護を利用することになった。初回の訪問時、血圧は降圧薬の内服で 130/80 mmHg であった。右片麻痺、麻痺側の感覚障害、運動性失語があり、一本杖や手すりを利用して自宅内を移動していた。A さん宅は、酒屋を自営しており、1 階は店舗、トイレおよび浴室、2 階に居室がある。各階の移動は手すりのあるらせん状階段のみで、階段昇降機の取り付けは構造上できない。A さんは「店に出て親しい客に会うのが楽しみだ」と話した。

120 ほうもんかん ごけいかく と い ないよう もっと ゆうせん ど たか
訪問看護計画に取り入れる内容で最も優先度が高いのはどれか。

1. げん ごくねん
言語訓練
2. しょくじ しどう
食事指導
3. ないふくやく かんり
内服薬の管理
4. はいべん
排便コントロール
5. かいだん しょうこう れんしゅう
階段を昇降する練習

